

震災の風化防ぐには



震災の記憶がない世代が、震災の継承について考えたつどい
＝神戸常盤大学メインホール

神戸常盤大で「つどい」

阪神・淡路大震災の
教訓継承をテーマに大
学生が議論する「復興
のつどい」が20日、神
戸市長田区大谷町2の
神戸常盤大学メインホ
ールで開かれた。

東日本大震災で被災
した岩手県釜石市での
炊き出し活動や、丹波
市の豪雨災害被災地で
復旧ボランティアに携
わった学生13人が企画
した。

つどいでは、サンテ
レビジョンの宮田英和
取締役や神戸新聞社の
林芳樹特別編集委員が
登壇。「未来へのメッ
セージ」をテーマに、

同大3年の斯波花織さ
ん(21)＝神戸市垂水
区、渡部大介さん(21)
＝尼崎市＝と、震災の
風化を防ぐ方法などを
話し合った。

学生ら約400人を
前に、宮田取締役と林
特別編集委員は「防災
や減災には想像力が大
切」「もし災害があれ
ば、次は皆が支える側
に回って」などと強調。
看護師を目指す渡部さ
んは「20年前にあった
問題を繰り返さないよ
うに、普段から減災に
思いを巡らせたい」と
話していた。